

佐賀県ウニ・アワビ垂下式養殖について

1. 目的

石川市漁協具志川支所では、現在種苗生産施設を整備してシラヒゲウニの垂下式養殖を実施している。また、浦添宜野湾漁協では、平成11年度より漁村高齢者能力活性化事業でトコブシの養殖試験を実施している。そこで、ウニ・アワビ垂下式養殖の先進地域である佐賀県玄海地区にて視察及び技術交流を行った。

2. 交流先

佐賀県玄海水産振興センター
鎮西漁協名古屋岡支所
佐賀県栽培漁業センター

3. 日程

平成11年12月13日（月）～12月15日（水）

4. 参加者

石川市漁協具志川支所 湧田森仁
浦添・宜野湾漁協 横田 弘・西原 隆
沖縄県水産業改良普及所 中村勇次

5. 交流地の概要

玄海地区は、本県の北西部に位置し、7つの離島を含む2市5町から成り立ち、海岸線は屈曲に富み、玄海国定公園を構成し、その延長は約259kmである。漁場は対馬暖流の影響下にある壱岐水道の外洋漁場と唐津湾や伊万里湾等の内湾漁場があり、生産対象水族も多種にわたり好漁場となっている。主な漁場としてはタイ、ブリ等高級魚対象の釣、延縄をはじめ小型底びき網、船びき網、中・小型まき網漁業等があり、

さらに外縁域では大中型まき網、イカ釣、アマダイ延縄等がある。内湾漁場では、唐津湾でクルマエビ、魚類等、仮屋湾及び伊万里湾で真珠、魚類、クルマエビ等の養殖が行われている。

6. 交流内容

佐賀県玄海水産振興センター 振興センター普及室長広瀬茂氏に佐賀県の水産業の概要を説明して頂いた。簡単にいうと有明地区は9割が海苔養殖、玄海地区は多種の漁業があるが3割をイカ釣り漁業が占めている。今回視察する鎮西漁協名古屋岡支所はエゾアワビ・アカウニの養殖を行っており、餌として天然のカジメ・アオサ・ホンダワラ及び養殖ワカメを与えており、全員が潜水漁業をして海藻を採取している。アワビについては、元々自然に生息しているクロアワビを種苗生産していたが夏場の高水温で斃死する個体が多く、エゾアワビに転換したところ安定した種苗を供給できるようになったとのことである。また、アカウニについては、近年病気が発生しており調子が悪いとのことであった。

鎮西漁協名古屋岡支所 名古屋岡支所長久保井喜一氏に養殖現場に案内してもらいウニ・アワビの養殖状況を視察した。養殖場は漁協事務所の目と鼻の先にあり、中を区分けした筏に網で作った約1m×1mで底に竹を組み合わせたシェルターを入れた小割籠で中間育成を行った後、ブイを1列に連結したロープに垂下した籠に移して養殖を行っているとのことであった。それぞれの施設は個人で所有しているとのことで、以前協同で行っていたが失敗したため現在

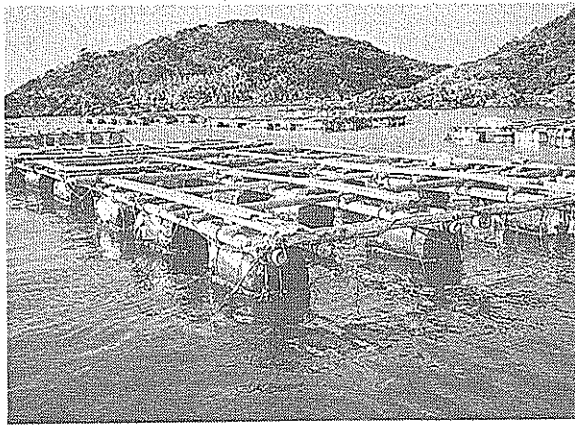
は個人で責任を持たせて養殖を行っている。人によって中間育成の期間、垂下養殖に移す時期等が異なるため生残率にも個人差があるとのこと。アワビは5 cmから出荷しており180円～220円、アカウニは5～6 cmで200円～240円で料亭等と契約して周年を通して定期的に出荷しているとのことであった。また、小規模であるがヒオウギ貝・カキの養殖も行っていた。

佐賀県栽培漁業センター 栽培漁業センター所長中武敬一氏に施設の概要を説明して頂いた後施設内を見学した。同施設では現在マダイ・オニオコゼ・コウライエビ・エゾアワビ・アカウニ・マナマコの種苗生産を行っている。アワビ・ウニについては稚貝の安定供給のための量産施設として平成13年度に佐賀県種苗量産施設が完成する予定で、本施設は県と沿岸2市5町、玄海漁連、沿岸漁協による第三セクターで運営する。既存の唐津市種苗センターでアワビ50万個、県種苗量産施設でアワビ190万個・ウニ90

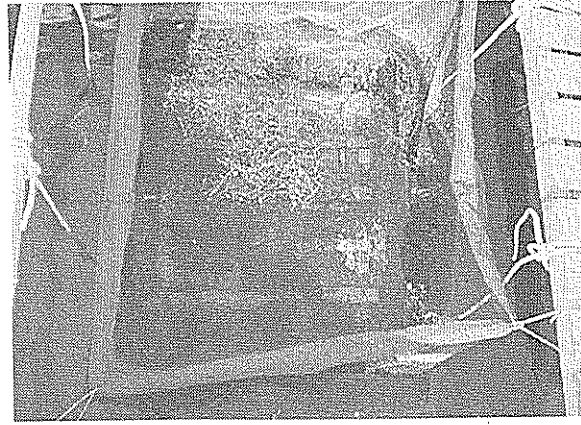
万個を生産するとのこと。しかし、現在ウニについては冬期にウイルスによるトゲ抜け症が発生する可能性があるため生産が不安定であり、今後管理技術等の対策が必要である。

7. 交流所感

名古屋岡支所のウニ・アワビ養殖では餌が天然に豊富にあるため、餌代がかからず、また出荷についても料亭等と契約して定期的に出荷するなど利益を上げるための工夫が見られた。具志川漁協、浦添宜野湾漁協においても少量なら天然餌料に依存した養殖は可能であるが、大量に養殖するとなると配合餌料で行うことになるので、養殖方法・出荷方法等の検討が必要である。また、名古屋岡支所所長久保井氏が言っていたように、協同行うとだれかがやるだろうと無責任になる場合が多く、各個人個人で責任を持たせて行った方がよいだろう。



エゾアワビ中間育成用の筏



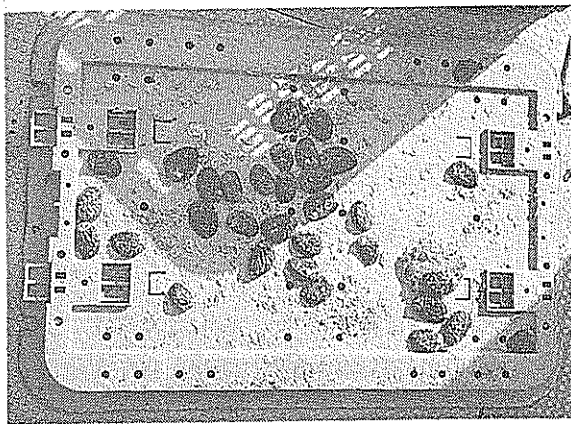
エゾアワビ中間育成筏に設置してある小割籠。底に竹を組み合わせてシェルターを置いてある。



名古屋岡支所眼前の垂下式養殖場所全景。



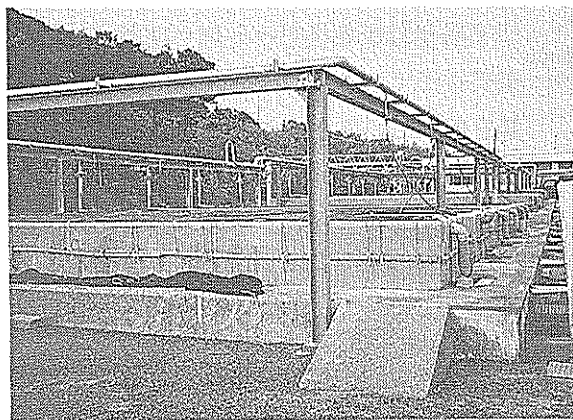
エゾアワビの垂下式養殖籠。



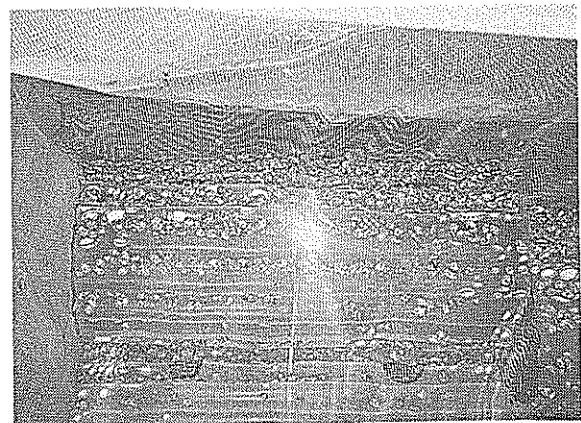
養殖籠の蓋に付いたエゾアワビ。



垂下養殖しているアカウニ。



栽培センターエゾアワビ種苗生産施設。



栽培センターで種苗生産しているエゾアワビ稚貝。